

コードキャンプ AI研修統括・志賀琢也による新刊『AIエージェント導入を任されたら読む本』9月24日発行

AIエージェントの仕組みから導入・運用までを体系的に解説。書籍の知識体系を法人向けAI研修にも展開し、企業のAI活用を担う人材育成を支援

コードキャンプ株式会社（本社：東京都品川区、以下コードキャンプ）は、AI研修統括志賀琢也による新刊『AIエージェント導入を任されたら読む本』が、本日2026年9月24日に日経BPより発行されたことをお知らせします。

本書では、AIエージェントの仕組みや構成要素、導入・運用における判断軸を体系的に整理しています。コードキャンプでは、本書で示した知識体系を法人向けAI人材育成にも活かし、企業のAI活用を支援してまいります。

『AIエージェント導入を任されたら読む本』9月24日発行

<https://codecamp.jp/corporate/press/detail/479>

AIエージェントを 理解 から 実践 へ。

💡 理解

⚙️ 導入

📁 構築



著者 志賀 琢也
監修 川西 里佳・上山 俊佑

**2026
9.24
発行**

書籍の知識体系を土台に、研修で実践へ。

日経BP『AIエージェント導入を任されたら読む本』（著者：志賀琢也 / 所属：コードキャンプ株式会社）

「AIを使う」から「AI活用で企業・組織を変える」へ

ChatGPTなどの生成AIを文章作成や調査に利用する企業は増えました。

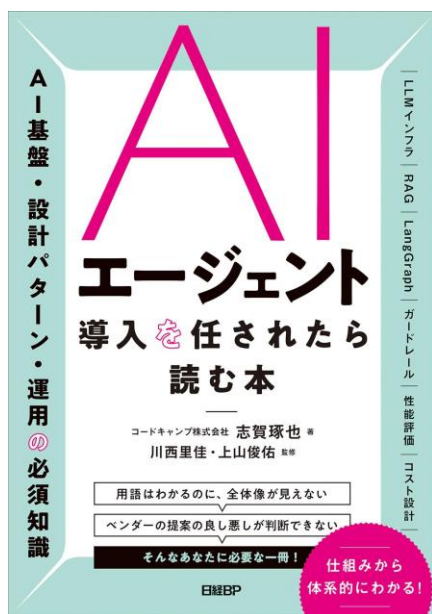
一方、企業のシステムやデータと連携させて、AIエージェントを業務に組み込み、真の価値を発揮させて活用するためには、生成AIや個別のAIエージェントツールを利用する場合とは異なる知識やスキルが必要になります。

- AIをどの業務に適用するのか。
- AIが自律的に判断する範囲をどこまでにするのか。
- どこで人間の承認を入れるのか。
- 社内データや外部システムとどのようにつなぐのか。

さらに、構築後の評価・監視・改善まで考える必要があります。

『AIエージェント導入を任されたら読む本』は、こうした判断を行うための土台となる知識を、AI基盤から本番運用まで体系的に整理しています。

本日発行『AIエージェント導入を任されたら読む本』



日経BP『AIエージェント導入を任されたら読む本』（著者：志賀琢也 / 所属：コードキャンプ株式会社）

本書は、特定の製品やツールの操作方法を覚えるのではなく、AIエージェントの構造を理解し、新しい技術が登場しても「これはどこに位置づくるのか」「自社に必要なのか」を考えるための知識体系を提供することを目指しています。

項目	内容
----	----

書籍名	AIエージェント導入を任されたら読む本
著者	志賀 琢也／コードキャンプ株式会社 AI研修統括
監修	川西 里佳／コードキャンプ株式会社 代表取締役 上山 俊佑／フューチャー株式会社 AI戦略推進室マネジャー
発行日	2026年9月24日
出版社	日経BP
書籍詳細・購入	・『AIエージェント導入を任されたら読む本』詳細 https://codecamp.jp/corporate/press/detail/479 ・日経BOOKプラス https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/26/09/09/02786/ ・Amazon https://www.amazon.co.jp/dp/4296220349/ ・楽天ブックス https://books.rakuten.co.jp/rb/18799811/ ・紀伊國屋書店 https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784296220342

監修者コメント

コードキャンプ株式会社 代表取締役 川西里佳

AIエージェントを全社で活用していくためには、事業や部門が一定の自由度を持って活用を進められる環境と情報を整えること、誤った判断や不適切な操作や情報管理上の問題など、重大なリスクにつながる使い方を防ぐ統制が必要となります。

「AIエージェントがとにかく動いた」という段階がクリアされつつある今、次に重要になるのは、この「自由度」と「統制」のバランスをどのように設計・実現するかであり、そのためには、AIエージェントがどのような仕組みで動いているのか、何に注意すべきなのかを全体像として理解していることが不可欠です。

本書とコードキャンプのサービスを通じて、企業が自社に適したAI活用のあり方を描き、それを現場で実装・定着させていけるよう支援してまいります。

フューチャー株式会社 AI戦略推進室 マネジャー 上山俊佑

企業のAIエージェント導入を支援する中で痛感するのは、つまりきの原因が技術そのものよりも、経営層・現場・技術者の間で「何をどこまでAIに任せるか」の認識が揃わないという点です。

本書は、その目線を合わせ、実現へと向かうための“共通の地図”となるよう監修しました。

読んで終わりにせず、自社の業務に当てはめて判断・実践するところまでご活用いただければ幸いです。

書籍の知識体系を土台に、AIエージェント導入を実践へ

書籍で体系的に示した、AIエージェントの基盤、実装、典型的な構成、本番運用までの全体理解を土台として、コードキャンプではAIエージェントの導入・活用を担うさまざまな役割の方に向けた研修を提供し、実際の業務で使える知識・スキルへとつなげていきます。

手触り感をもった全体理解に始まり、業務への導入に向けた要件整理・構成検討、AIエージェントの設計・実装・評価・運用まで、企業のAI活用フェーズや育成する人材の役割に応じた学びを提供します。

AIの特性を正しく理解し、活用・導入・構築を担える人材の育成を通じて、企業のAI活用と人材育成を支援してまいります。

AIエージェント人材育成を、目的に応じて

コードキャンプでは、AIエージェントの全体理解から業務への導入検討、構築・運用まで、目的や対象者に応じた研修ラインナップを用意しています。



※図中の①～③は、下表の「No.」と対応しています。

No.	目的	研修名	想定受講者	学びの方向性
①	AIエージェントの仕組み・概要を理解する	AIエージェント導入検討の基礎	AI導入担当、DX・AIX推進担当、提案担当等	目的設計からリスク管理、システム構成、成功・失敗事例まで、AI導入の構想・要件定義に必要な基礎知識を体系的に学ぶ
		AIエージェント速習	AI導入担当、DX・AIX推進担当、提案担当、エンジニア等	LLMの仕組みと回答のゆらぎ・パラメータによる出力変化を体感し、Difyでエージェント構築の手触りを得る。システム構造の全体像と構成要素を体系的に理解する
②	業務への導入を考える	自社におけるAIエージェント活用・導入構想	AI導入・業務企画・推進担当等	AIエージェントを自社でどう活用し、実装・導入をどう進めるべきかを、有識者を交えたディスカッションで構想化する
③	AIエージェントを導入・構築する	AIエージェント導入プロセス	AI導入担当、DX・AIX推進担当、提案担当	AIエージェント導入における、性能評価・コスト・セキュリティ等の典型論点を理解した上で、機能・非機能整理のドキュメント体系を学習する。
		AIエージェントローコード(Dify)構築研修	AI導入担当、DX・AIX推進担当、提案担当	ローコードでAIエージェントを構築できるツール(Dify)を利用したAIエージェントの構築方法と設計・運用のコツについてハンズオンを通じて学習する
		AIエージェント構築研修	AIエージェントの実装を担うエンジニア	LM API、RAG・ベクターDB、LangGraph、MCP等を組み合わせ、検索・ツール連携・分岐・人間の承認を含むAIエージェントを設計・実装する方法を学ぶ。評価・観測、デプロイ・運用・テストまで、本番導入を見据えた実践的な開発スキルを習得する。

上記の各研修コースに当てはまらないテーマについても、企業ごとの課題や目的に応じた研修の企画・設計が可能です。AI活用を進めるうえで必要となる組織体制や人材要件の整理からご支援するケースもございますので、お気軽にご相談ください。

コードキャンプは、AIリテラシーや生成AIの業務活用から、AIエージェントの理解・導入・構築まで、企業のAI活用フェーズや対象者に応じた人材育成を一貫して支援します。

コードキャンプの法人向けAI研修

AIリテラシー・生成AIの業務活用から、AIエージェント・AI開発人材の育成まで、企業の目的や対象者に応じた研修をご提案します。

法人向けAI研修の詳細

<https://codecamp.jp/business/ai-training>

法人研修に関するお問い合わせ

<https://codecamp.jp/business/contact>

コードキャンプ株式会社について



コードキャンプ株式会社は「人と社会の成長を加速させる」をミッションに、個人向けプログラミングスクールから法人向けIT・生成AI研修まで幅広いデジタル人材育成サービスを提供しています。受講者一人ひとりの目的や事業フェーズに合わせたカリキュラム設計を強みとし、自治体・企業・教育機関など多様なパートナーと連携しながら、技術を「挑戦する人の武器」にする学びの場を届けています。

会社名	コードキャンプ株式会社
所在地	東京都品川区大崎1丁目2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 3F
設立	2012年12月21日

事業内容	プログラミング・IT・生成AI教育事業
URL	https://codecamp.jp/

本件に関するお問い合わせ

コードキャンプ株式会社 広報担当

Email : info@codecamp.jp